

庁舎建築工事：コンクリート躯体工事が完了し上棟

地上階躯体工事では、1階から屋上階までの床、柱、梁、壁を順次、鉄筋コンクリート(一部はプレレストレストコンクリート)により構築してきました。

これまでに、3階柱・梁・壁、屋上階床部分は5月初めに、屋上階段室柱・梁・壁・天井部分は5月中旬にコンクリート打設(流し込み等)を完了し、新庁舎が上棟となりました。

現在は、屋上の防水工事や屋根葺き工事等をおこなっています。



躯体が完成し、上棟を迎えた新庁舎

庁舎建築工事：内部・外部仕上工事が順調に進行中

上記の躯体工事と並行し、内部・外部の仕上工事を前倒しで順次開始しています。

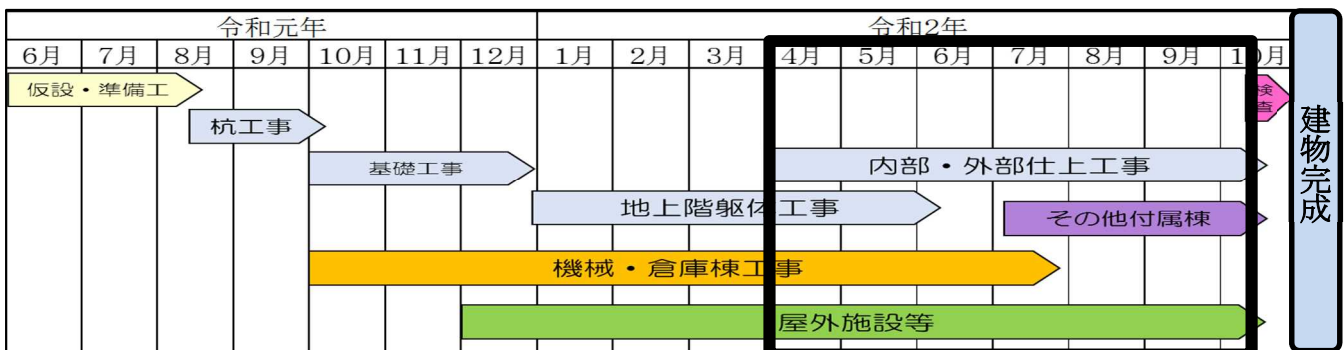
仕上工事では、内装や外装の細部工事として、コンクリート躯体へ壁・天井・扉・窓等を取り付ける他、照明・空調等の機器設置、塗装をおこないます。

壁・天井の内装仕上では、軽量鉄骨で組んだ骨組みに、必要な断熱材を入れた後、石膏ボード等の壁・天井材を取り付け、壁紙を貼付していきます。

1階では、壁・天井材取り付けまで作業が進行しており、今後は照明取付等をおこなっていきます。



1階窓口付近の現況(窓・天井材取付完了)



新庁舎コラム 新庁舎の空撮⑥：令和2年3月～6月

建築工事について実施している空撮の一部をご紹介します。



敷地南東側より(3月末地上躯体工事)



敷地南東側より(4月中旬地上躯体工事)



敷地南東側より(4月末地上躯体工事)



敷地南東側より(6月末内部外部仕上工事)

撮影にあたっては、国土交通省より人口集中地区のドローン飛行許可・承認を受けた者が、福島北警察署への事前連絡のもと、安全性やプライバシー等に配慮して実施しております。

新庁舎コラム「新庁舎内装への町産材利用」

新庁舎内装の一部(議場、町民ロビー、応接室等)には、県森林環境税を原資とした県交付金(補助)である、「福島県森林環境交付金」を活用し、町半田財産区産のヒノキ材を購入し利用します。国重要文化財である旧伊達郡役所の外壁「下見板張り」をモデルにしています。

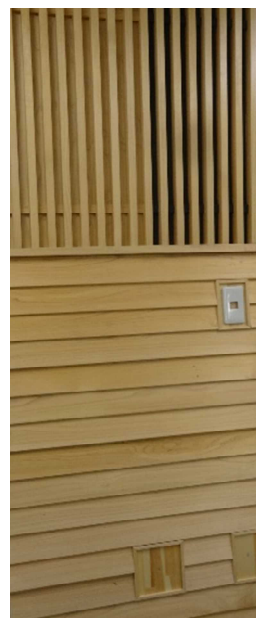
町産材の利用により、温かみと安らぎのある内装とし、町民が気軽に訪れやすく、集いの場となる、桑折町らしい庁舎を目指します。また、森林への親しみを広げ、環境保全への関心と理解の向上を図ります。



内装のイメージ(壁面が町産木材)



旧伊達郡役所の外壁がモチーフ



内装の見本品